

ダイジエストラ版

特別対談企画

岡山土地倉庫

Vol.3

自分の殻を、破っていく。

2025年に創立90周年を迎えた岡山土地倉庫(SUENAGA Group)。2023年よりイメージキャラクターを務めている鈴鹿央士さんをお迎えして、グループのスローガン「Challenge and Change」をテーマに語っていただきました。(対談日:2025年8月18日)



俳優・モデル

鈴鹿 央士さん



岡山土地倉庫株式会社

取締役社長
末長 一範

挑戦の先にある変化を思うとワクワクできる

末長代表 弊社グループのイメージキャラクターに就任いただいてからずっとお会いしたかったのですが、ようやく叶ってうれしいです。

鈴鹿さん ばくも今日の対談を楽しみにしてきました。よろしくをお願いします。

末長代表 鈴鹿さんは弊社が拠点を置く岡山市の出身で、俳優、モデルとして多方面で活躍されています。様々なことに挑戦している姿が、弊社グループのスローガンである「Challenge and Change」に重なると思いました。

鈴鹿さん 「Challenge and Change」という言葉に共感します。なにかに挑戦して一歩前へ踏み出すときって勇気が必要ですが、その先にある変化を思うとワクワクできますよね。

末長代表 岡山で弊社の広告を見る機会はありましたか？

鈴鹿さん はい、帰省したときに路面電車のラッピング広告を見ました。生まれ育ったまちで自分が出ている広告を見ると不思議な感じがすると同時に、「これからもがんばろう」って思えます。

もがいた時間は無駄にはならない

末長代表 スカウトされて、上京するときはどんな気持ちでしたか？

鈴鹿さん 最初は「大学に通いながら続けてみて、芸能界が楽しかったら続けよう、楽しくなかったら就職活動しよう」と考えていたんです。「絶対に売れてやるぞ」というような気持ちを持たずに東京に来ました。今思うと、いい意味で肩の力を抜いていたのがよかったのかもしれないです。

末長代表 仕事をする中で、壁にぶつかることはありますか？

鈴鹿さん 台本を読んでいて、どうしても自分の中でうまく表現に結び付かないことがあります。「やればなんとかなる」という気持ちで現場へ行くのですが、「なんとかなる」と自分が思えるくらいまで、もがく時間をつくるようにしています。たとえ答えが見つからなくても、もがいた時間は無駄にはならないと思っています。

末長代表 もがいた時間は無駄にはならない、本当にそうですね。

鈴鹿さん 高い壁だな、手ごわいなと思って、逆にワクワクするというか、楽しく感じる性格なんです。

不器用だからとことんやる

末長代表 今、興味を持っていることはありますか？

鈴鹿さん 陶芸に興味があって、この前いろいろ調べたんです。家に置ける陶芸用の電気窯があるのですが、それを買うかどうかどうしようかと悩みました。結局、買わなかったのですが(笑)

末長代表 そういえば、出演いただいたCMのメイキングインタビューでも「岡山中で備前焼に挑戦してみたい」とおっしゃっていましたが、仕事で陶芸家の役が来たら、のめり込みそうですね。

鈴鹿さん そうなるかもしれません。デビュー作で演じた役がピアニストだったのですが、そのときは部屋に電子ピアノを置いてずっと練習していました。陶芸家の役が来たら、ろくろと電気窯を買うことになるかも(笑)

末長代表 いろんな役になりきれるのは本当にすごいです。俳優さんは、みなさん器用ですね。

鈴鹿さん いやあ、ぼくは不器用なんです。だからこそ、とことんやるというか。できるようになるまで自分を追い込んでいくようなところがあります。

末長代表 鈴鹿さんはこれからもいろんなことに挑戦して、自分の殻を破りながら成長していかれると思います。私たちも鈴鹿さんに負けないように前進していきます。岡山からみんなで応援していますので、どうか体に気をつけて、これからもがんばってください。機会があれば、ぜひ一緒に備前焼体験をしましょう。本日はありがとうございました。

鈴鹿さん ありがとうございました。

お二人の対談の完全版は
90周年特設サイトにぜひご覧ください

90周年特設
ページは
こちら



特別対談
完全版は
こちら

